

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すまいるプラス		
○保護者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	7年 4月 1日		～ 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと同じ目線に立って一緒に活動を楽しんでいる事。 友達と遊ぶ輪が広がるように手助けをしている事。 	<ul style="list-style-type: none"> 各指導員が子どもと一緒に参加する事で、子どもの気持ちをひきだしやすい。 子どもの「工作がしたい」「跳び箱で遊びたい」などのやりたい事を尊重している。 	<ul style="list-style-type: none"> 1対1の活動の時間を大切にしながら子どもの遊びの幅が広がるように支援する。 友達との関わる機会を増やし友達との輪を広げるように支援する。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域のイベントに積極的に参加し、色々な体験をしている事 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所が開催している「チャレンジスポーツ」や地域イベント活動に参加し、利用者が地域の方や参加されている子ども達とふれあい関わる時間を持っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達だけで考えてイベント行事に参加したりできるような力を身につけられるように支援していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 社会に出るための生活スキルや、常識を付ける経験をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電車に乗ったり、スーパーに買い物に行き、お金について学び、社会で生きていくためのスキルを身に付けられるような活動を支援の中に組み込んでいる。 困った時に助けを求めたりわかりやすく伝えたりする方法が身につけられるように普段の関わりの中で行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 時刻表や切符の買い方、困った時など誰かに聞いたり助けを求められるようなコミュニケーション力を身に付けられるように支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの思いを受け入れすぎてしまう事がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが楽しく来所し、穏やかに過ごしてほしいという思いが強い。 	<ul style="list-style-type: none"> どこまで手を貸すのか支援のボーダーラインを決めて共通認識を持つ。
2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの年齢層が少し広がって来たが、その年齢に合った支援が難しくなってきた事。 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢別の個々にあった支援を考えながら活動が出来るようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の得意分野を理解しながら、活動に繋がるように支援していく。
3			